

(別記2)

動物福祉対応及び血斑発生低減に向けた試験的取組支援事業

第1 事業概要

本取組においては、牛肉輸出に関して米国・欧州連合等が要求する頭絡による家畜の取扱いや懸垂放血によると畜への対応により生じる課題の解決に必要な会議の開催、海外調査、試験的取組等を実施できるものとする。

第2 事業実施主体

事業実施主体は、コンソーシアムとし、次に掲げる要件を全て満たすものとする。

- 1 別記1の事業を実施するコンソーシアムであること。
- 2 コンソーシアムの構成員である食肉処理施設が、米国又は欧州連合向けの輸出施設認定を受けていること。

なお、事業の採択に当たっては、以下に掲げる(1)、(2)の順に優先することとする。

- (1) 牛肉の輸出量の多いコンソーシアム
- (2) 構成員である畜産農家数が多いコンソーシアム

第3 成果目標及び目標年度

要綱第9の第2項の畜産局長が別に定める成果目標及び目標年度は、次に掲げるとおりとする。

1 成果目標

成果目標は、本事業を実施することにより、以下の全てを達成するものとする。

- (1) 輸出向け牛の動物福祉に配慮した取扱い状況の改善
- (2) 血斑発生率の低下

2 目標年度

本事業は、事業完了年度から3年度以内に設定するものとする。

第4 事業実施の手続等

別表1の事業の種類欄に掲げる2の(3)の頭絡による家畜の取扱い及び血斑低減のための取組については、第4の8の規定の対象外とし、事業目的の実現のために必要な場合については、交付決定前に着手することができる。